

徳田の歴史-12

(中間まとめ編)

1/1

歴史 NO	項目	主な内容	言える事
1	徳田の天王さん	五穀豊穡等の地区の護り神	天王さんを中心として組(地区)の一体感
2	徳田の弘法さん	弘法大師様をお祀りしている	大師様を中心としての定例的な地区民の集会、行事
3	渥美徳兵衛さん	私財で農業事業等に貢献	徳田地区の先駆者
4	六体地藏	地域住民の為の守り地藏	墓参の人々が手厚くお守りしている
5	鎮神さん	地域の護り神	氏神様的な存在として地区民全員が守る
6	貧乏堤	地区民による堤(境界)の構築	災害等の防止対応
7	正念寺の釣鐘	釣鐘にまつわるお話(幸運の鐘)	地域の皆さんによって今も慕われている
8	八雲神社と宮さん田	神社を中心とする田んぼのお話	地区の人達が特定の田んぼを耕作、管理する
9	言い継ぎ制(無形)	地区の連絡網(手段)	隣近所の信頼、助け合い
10	小学校の登下校(無形)	登下校時の様子	地区民と子供たちの絆、自然の見守り体制
11	ほら貝	災害等の連絡	自主防災意識の高揚
12	(中間まとめ編)	NO.1～NO.11 のまとめ	_____

※それぞれの地域にはあまり知られていない小さなすばらしい歴史(話)がたくさんあると思います。そのような歴史物語を年配の方々、お寺の住職さん、関係者の方々に伺い、自治会の協力も得ながら作成しつつあります。

上記の項目より…

- ①神仏等を中心として地区民が自主的に物事の改善に取り組んでいた。
- ②近隣住民との絆を重んじる体制が自然と構築されていた。
- ③地域で子供達を見守る風習が自然と出来ていた。

…等が言えると思います。

2017/2 月

H.A